

水素エネルギー

推進へ講座開設

京大、旭硝子寄付で

京大化学研究所

(宇治市)は四月一日、

ガラス業界最大手の旭

硝子(東京)の寄付講

座「水化学エネルギー

(AGC)研究部門」

を開設する。温室効果

ガスの排出を大幅に減

らすクリーン水素エネ

ルギーを作る研究を推

進する。

中原勝・化学研教授

が担当教授に就任す

る。同研究所の水の反

応に関する研究成果を

生かし、液体ギ酸を利

用した水素エネルギー

の生成サイクルの確立

を目指す。設置期間は

三年間で、寄付総額(予

定)は六千万円。